

再生可能エネルギーと IoT農業で地方をリデザイン 「スマートアグリファームプロジェクト」

グリーンリバー
ホールディングス

グリーンリバーホールディングス（東京オフィス：千代田区神田須田町、長瀬勝義代表取締役CEO、03・5289・7318、<https://www.greenriver-hd.co.jp/>）は、福岡県と東京都に拠点を置く太陽光発電所施工事業者であり、農業を手がけるベンチャー企業でもある。太陽光発電所施工を主とした再エネ事業では、独自の特許工法を活用し、700MWを超える発電所建設に携わり、農業事業では、縦型水耕栽培装置による太陽光利用型植物工場（特徴的な栽培方法とIoTを利用した次世代型農業）を開発し、日本全国で展開している。

近年は農業事業に注力し、耕作放棄地および耕作放棄ハウスの問題に着眼。高効率な栽培方法を実現し、高収益で簡略化した農業の新しいスタイルを全国各地で提案している。現在の主要生産物はハーブの「スイートバジル」である。イタリアンやフレンチ、東南アジア料理、エスニック料理にも多用される香草で年末に需要が高まる傾向ながら、冬季の栽培が難しく市場に多く流通していない。しかし、同社グループは再生可能エネルギーと独自技術を活用して「スイートバジル」の通年栽培に成功し、安定供給を可能にした。生鮮品は既に大手流通会社をはじめ、飲食チェーンや都内ホテルでの取扱いが始まっている。生産物の6次化にも積極的に取組み、「スイートバジル」を使用したさまざまな

商品の販売を近日開始する。

「スマートアグリファームプロジェクト」から生まれた生産物や商品、取組み・事業参入などについて興味のある方はぜひご連絡ください。

私たちとともに、
再エネと農業を中心とした
地方のリデザインを！



通年栽培が可能になった「スイートバジル」。関連商品開発も進めている

